

第8回兵庫県医療審議会 地域医療対策部会 議事骨子

(H21.9.18 13:00～14:30 兵庫県医師会館6階会議室)

1 出席委員

守殿委員、千原委員、杉村委員、西村委員、登里委員、波田委員、丸尾委員

2 議事骨子

(1) 地域医療再生計画について

(審議趣旨)

- ・国の平成21年度補正予算において、都道府県が行う地域における医療課題の解決に向けた医療機能の強化、医師確保等の取組を支援するため、「地域医療再生臨時特例交付金」が交付されることとなった。当該交付金の交付に当たっては、都道府県において、二次医療圏単位での医療課題を解決するための各種施策を定める「地域医療再生計画」を作成することとされており、計画策定の方針について審議する。

(審議結果)

- ・事務局案(資料1)のとおり承認

(主な意見)

- ・再編・統合が選定の最も重要なポイントであることから、阪神南圏域と北播磨圏域以外には競合するものがない。両圏域を選定することが適切である。
- ・本計画案には、個別の病院名があげられているが、それらの病院だけの計画ではなく、周辺の医療機関も含めた地域全体の計画にする必要がある。
- ・医療人材育成システムは重要な視点だが、重点項目として位置づけられており、十分配慮されている。
- ・小児周産期、救急医療は医療圏を越えた対応が必要である。選定する圏域は二つだが、ここを核に兵庫県全体をカバーすることができるよう、圏域を越えた医療連携を深めるためのツール(ドクターカー・救急車、遠隔画像配信システム、遠隔診療・診断機能、テレビでディスカッション機能等)を、充実していただきたい。
- ・病理医、法医が少ない日本では、画像診断はこれらの医師を助けるには重要なものだ。
- ・テレパソロジー(遠隔病理診断)やテレラジオロジー(遠隔放射線診断)については、大きな病院間のネットワークと地域でのネットワークを結びつけ、その大きなネットワークの中心を大学に置けば、地域のコンサルタント症例を診ることができ、モデル的な事業になる。病院同士をつなぐというのではなく、どこかに情報センターを作るやり方が適している。

(2) 医師派遣緊急促進事業について(資料2)

(審議趣旨)

- ・医師不足が深刻な病院へ医師を派遣する医療機関への助成制度である「医師派遣緊急促進事業」の今年度の医師派遣内容について、審議する。

(審議結果)

- ・ 7病院からの36人の派遣について承認

(主な意見)

- ・ 医師の負担が大きいので、医師に対する何らかの手当等も考えていく必要があるのではないかと。

(3) 地域医療確保に向けた取り組みについて

(報告趣旨)

- ・ 県が現在実施している地域医療の確保に向けた取組についての報告(資料3)

(主な意見)

- ・ これからは外科医に対する支援がないと、外科医の確保が難しくなってくると思われる。早め対応を考えた方がいい。
- ・ 公立病院も、医師の給与についてももう少し柔軟な仕組みを考えて、モデルを作っていたらと思う。